

# 令和3年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～					
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー					
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	市民活動推進部 産業振興課	評価責任者			本橋 直人		
		評価日			令和4年4月22日		
関連課	都市計画課						
目標	企業誘致などによる産業の集積を進め、地域経済の活性化を図ります。また、商工会と連携を図りながら、商店街のにぎわいを維持・確保していきます。中小企業に対しては、経営基盤の強化と事業の安定化を図るため、支援体制を充実します。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 新たな産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな産業団地を創出するなど、企業誘致の促進を図ります。</li> <li>○食品に続き、新たに工業製品のふじみ野ブランド化を推進します。</li> </ul> <p>(2) 商工業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商工会と連携し、起業を目指す人材の育成や商店街の空き店舗での創業支援を実施します。</li> <li>○産業まつりなどの事業を通して、地域経済の活性化に向けた取組を実施します。</li> <li>○商・工・サービス業など、既存企業の経営基盤の強化と事業の安定化を図ります。</li> </ul>						

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	企業誘致数					
		説明	令和3年度において新規の企業立地はなかったが、目標達成に向け近づいている。					
		単位	社					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	8	9	14	14	14	14
		実績値	5	6	8	8		
	指標 2	指標名	新産業団地の創出					
		説明	令和3年度は、新産業団地創出に向けた土地区画整理事業計画に則り事業を進めている。また、一部については、仮換地の指定を実施しており、まだ新産業団地の創出には至っていない。					
		単位	ha					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	0	0	12	12	12	12
		実績値	0	0	0	0		
	指標 3	指標名	商工会員数					
		説明	新たな会員の獲得に向けて加入を促進したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。					
		単位	事業所					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	1,700	1,720	1,740	1,760	1,780	1,800
		実績値	1,619	1,602	1,673	1,690		
	指標 4	指標名						
説明								
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	40,782	39,500	38,916	418,442	57,331	
	人件費	24,288	14,361	16,922	21,460	17,486	
収入	特定財源	0	0	0	371,451	0	
	一般財源	65,070	53,861	55,838	68,451	74,817	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	企業ガイドWEBの充実	市内企業を紹介する企業ガイドWEBの充実を図るため、企業訪問等で得た情報を集約し、掲載企業の追加作成を行った。	現在、31事業所の情報を掲載しており、市内優良企業のPRにつながっている。	企業誘致推進事業（一部）
取組②	商店街の活性化	安全・安心な商店街の形成及び賑わい創出を目的とした活動に対し、要望のある商店会へ補助を行った。	商店街活動推進事業補助：6商店会（歳末福引・花植体験・ステッカー作成等）商店街環境施設及び基盤整備事業補助：5商店会（防犯カメラ修理3商店会・音響設備1商店会・街路灯LED化1商店会）商店街の取組及び設備改修等に対する補助を行うことで活性化を図った。	商工業振興事業（一部）
取組③	消費活性化クーポン給付事業	令和2年8月1日時点でふじみ野市に住民登録のある方へ1世帯あたり一人2,000円のクーポンを配布し消費の活性化を図る。	参加登録店336事業所において、使用期間内に201,583,500円の使用があり、市内での消費活性化を図ることができた。	商工業振興事業（一部）
取組④	小規模企業者等臨時支援金給付事業	主たる事業所が市内にある小規模企業者のうち、対象月の売上が前年比及び前々年比20%以上減少している事業者を対象に100,000円の支援金を支給する。	支給件数1,374件 新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が減少した市内小規模事業者の事業継続を支援した。	商工業振興事業（一部）
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	<p>市内産業系土地利用推進エリアを継続して紹介をすることで、市内への進出企業の増加に結び付くものとする。また、市内企業への継続したヒアリングを行うことで顔の見える関係性を築き、事業課題等の相談をしやすい環境を創出することに繋がるものとする。そのことが本市に立地しているメリットとなり、市外への流出を防ぐこととなるため、継続して事業を遂行することが必要と考える。</p> <p>全国的に問題となっている店主の高齢化、後継者不足等による商店街の衰退を防ぐには、新規創業者を商店街への進出に結び付けることや、商店街事業に対する補助を継続して実施していくことが、空き店舗の解消、安全・安心の確保、地域コミュニティの創出等に繋がるため必要であるとする。また、市内商工業の振興を継続的に図るため、ふじみ野市商工会への補助や産業まつりへの補助を引き続き実施する必要がある。</p> <p>更に市内中小企業の経営安定、経営拡大を図るため、商工会や金融機関と連携しながら、引き続き中小企業に対し融資斡旋や利子補給金等を行い支援していくことが求められる。</p>
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	中小企業支援事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～		
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー		
予算費目	一般会計 07商工費 01商工費 02商工振興費			
所管部課	市民活動推進部 産業振興課		評価責任者	葛籠貫 智洋
事務事業期間	昭和53年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	小口融資・中口資金融資あっせん規則、県不況対策関連融資利子補給金交付要綱、制度融資保証料補助金及び利子補給金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	中小企業者の経営の維持及び安定を図るとともに、産業基盤を確保することを目的とする。		
	事務事業の経緯	一般に中小企業者は、金融機関借入が困難な状況にあったこと、また返済にあたっては負担が大きいため、市が融資のあっせんおよび負担軽減のための補助を行う必要があったため		
	事務事業の概要	資金調達を必要とする事業主からの融資相談、小口融資及び中口融資のあっせん、年度末には市及び県の融資を受けている市内事業者のうち、対象となる事業者へ保証料補助及び利子補給を行う。		
	令和3年度の主な取組	【融資利子補給金申請件数】 保証料補助 5件 中口融資利子補給 37件		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.50
		人件費	2,418	3,974
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
人件費計		2,418	3,974	3,974
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	1	3
	委託料	0	0	0
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	11,640	12,343	15,665
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	38	36	46	
支出合計		14,095	16,354	19,688
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		14,095	16,354	19,688
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		123	143	169

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	県不況対策緊急融資利子補給金補助金		
	説明	経営安定を図るための中小企業者の負担軽減策		
活動	単位	千円		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	4,000	8,111	8,111
	実績値	6,844	10,531	
指標 2	指標名	小口融資・中口融資のあっせんに伴う利子補給金支給件数		
	説明	市の制度融資である小口融資及び中口融資の利子補給金支給事業所数		
活動	単位	事業所		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	60	60	60
	実績値	52	37	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【融資利子補給について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資保証料補助金 「ふじみ野市小口融資保証料及び利子補給金交付要綱」「ふじみ野市制度融資保証料及び利子補給金交付要綱」に基づき融資を受けた中小企業に対し、貸付時から完済までに支払った保証料の全額を補助する。 (令和3年度実績) 事業所数 5件 交付額 986,151円</li> <li>・融資利子補給金補助金 「ふじみ野市小口融資保証及び利子補給金交付要綱」「ふじみ野市制度融資保証料及び利子補給金交付要綱」に基づき融資を受けた中小企業に対し、当該年の1月から12月までの償還利子50%を補助する。 (令和3年度実績) 事業所数 37件 交付額 824,800円(中口37件)</li> <li>・県不況対策関連融資利子補給金補助金 景気低迷により苦境にある中小企業の金利負担を軽減することにより、当面の経営の維持及び安定を図るとともに産業基盤を確保するため、景気低迷により売上の減少している中小企業を対象とした埼玉県の経営安定資金倒産関連融資、経営安定資金特定業種貸付など埼玉県の不況対策関連融資を受けた中小企業者に対し、予算の範囲内において、利子年0.5%分の金額の利子補給金を交付する。 (令和3年度実績) 事業所数 95件 交付額 10,531,600円</li> </ul>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市内中小企業の経営安定、経営拡大を図るために、商工会や金融機関と連携をしながら、引き続き中小企業に対し融資あっせんや利子補給金等を行い支援していく必要があるため。
中長期的方向性	
継続	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		商工業振興事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～			
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー			
予算費目		一般会計 07商工費 01商工費 02商工振興費			
所管部課		市民活動推進部 産業振興課		評価責任者	葛籠貫 智洋
事務事業期間		昭和55年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		商工業振興事業費補助金交付要綱、商店街活動推進事業補助金交付要綱、商店街環境施設及び基盤整備事業補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	自主的かつ自発的に商工業の振興に取り組もうとする商工業団体を対象に、商工業の近代化の促進及び振興を図る。商店街団体を対象に、市民に愛される商店街づくりの促進及び商店街の活性化、環境施設・基盤整備の推進、負担軽減のため街路灯電気料の補填を図る。			
	事務事業の経緯	商工業の振興施策として市内の商工業団体に自主的かつ自発的な取組を促すため、市が補助することが必要になった。市内商店街の振興と活性化を図るため、商店街が管理する街路灯の電気料金や共同施設の設置、また商店街自ら実施する共同事業に要する費用に対して、自己財源に加えて市から補助することになった。			
	事務事業の概要	商工業振興施策として、市内の商工業団体に自主的かつ自発的な取組を促すため、要望のあった団体に対し補助金を交付する。商工業者を対象に計量検査を行う。商店街の振興と活性化を図るために商店街が実施する共同事業等、商店街街路灯の電気料金に要する費用に対し、各交付要綱に基づいて補助金を交付する。また、埼玉県で実施する計量検査における事前調査を実施する。			
	令和3年度の主な取組	商工業団体の自主的かつ自発的な取り組みへ補助金交付を継続して実施した。また、商店街の振興と活性化を図るため、商店街が実施する共同事業や商店街街路灯の電気料金に要する費用に対し補助金を交付した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.20	1.20
		人件費	9,669	9,538	9,538
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		9,669	9,538	9,538	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	11	0	11	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	26,998	31,451	38,285	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	41	10	60		
支出合計		36,719	40,999	47,894	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	523	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		36,719	40,476	47,894	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		321	354	411	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	防犯カメラ設置商店街数		
	説明	安心で安全な商店街づくりのために、商店街の要望を聞きながら防犯カメラの設置数を増やす。商店街会員数の減少等により商店街での防犯カメラの維持管理が難しいため、平成29年度から設置数は増えていない。		
活動	単位	カ所		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	15	15	15
	実績値	12	12	
指標 2	指標名	商店会内の空き店舗解消数		
	説明	ふじみ野市商店街空き店舗対策事業補助金の交付対象となった店舗数。市内商店会の空き店舗を解消する事により商店街活性化を進める。		
活動	単位	店舗		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	4	4	4
	実績値	1	3	
指標 3	指標名	商工会員数		
	説明	商工会に加入する事業所数。市内経済の活性化を図る指標となる。		
成果	単位	事業所		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1,740	1,760	1,780
	実績値	1,673	1,690	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 商工業振興事業補助金 (1) ふじみ野市商店会連合会 (令和3年度実績) 花いっぱい運動、統一景観・宣伝事業、イルミネーション事業、バル事業（イベント自体は中止）、竹飾り設置事業
	2 商店街街路灯電気料金補助金 対象となる15商店会に対し、街路灯電気料の全額補助を実施する。
	3 商店街活動推進事業補助金 要望調査を実施し、計6商店会へ支援を実施(ソフト事業) (令和3年度実績) 駅前名店街（歳末福引、ストリートギャラリー等） 一番街商店会（花いっぱい運動） サンロード（花いっぱい運動） みほの商店会（サヨナラセール、販売促進事業） 霞ヶ丘商店会（花植え体験事業） 八雲通り商店会（WELCOMEステッカー作成事業）
	4 商店街空き店舗対策事業補助金 補助実施件数 累計9件(平成27年度制度開始から)
	5 商工会への補助（経営改善普及事業費、地域総合振興事業費、管理費）

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	全国的に問題となっている店主の高齢化、後継者不足等による商店街の衰退を防ぐため、新規創業者を商店街への進出に結び付けることや、商店街の事業に対する補助を継続し実施することで、空き店舗の解消、安心・安全の確保、地域コミュニティの創出に繋がるものとする。 また、市内商工業の振興を図り続けるため、ふじみ野市商工会への補助及び産業まつりへの補助を継続的に実施する必要がある。
中長期的方向性	
継続	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		企業誘致推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～		
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー		
予算費目		一般会計 07商工費 01商工費 02商工振興費		
所管部課		市民活動推進部 産業振興課	評価責任者	葛籠貫 智洋
事務事業期間		平成26年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、土地区画整理法、農業振興地域の整備に関する法律、農地法 ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略		
事務事業の内容	事務事業の目的	地域経済の活性化と自主財源の確保、地元雇用の拡大を図るため、企業誘致を行う。		
	事務事業の経緯	後期基本計画において企業誘致の推進が位置づけられ、平成26年度にスタートした取り組みである。平成27年度に、『ふじみ野市企業立地基本計画』を策定し、市の企業誘致のあり方を決定した。企業立地基本計画に基づき戦略的な企業立地の推進を進める。		
	事務事業の概要	短期的な取組みとして、大野原地区の指定区域の現況と課題の整理を実施し、未利用地の企業誘致の実現方策の検討を行う。 継続的な取組みとして、市内企業のマッチング支援やサポートの強化を行うことで、市内企業の状況把握を進め、企業課題の改善に取り組む支援体制の基盤を構築する。		
	令和3年度の主な取組	市内産業系土地利用推進エリアの整備を推めるとともに、継続してエリアの紹介を行い、市内への進出企業の増加を進めた。また、市内企業への継続したヒアリングにより、状況把握や事業課題の把握を行い、対応策を検討するなどの支援を実施。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.50	0.50
		人件費	4,835	3,974	3,974
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,835	3,974	3,974	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	56	80	82	
	委託料	0	1,450	2,900	
	使用料及び賃借料	0	0	10	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	126	126	126	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	6	5	143		
支出合計		5,024	5,635	7,235	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,024	5,635	7,235	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		44	49	62	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	新産業団地の創出		
	説明	企業誘致により、新たに創出した産業団地の面積。新産業団地を創出することにより、雇用の創出・地域経済の活性化を図る指標となる。		
活動	単位	ha		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	12	12	12
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	亀久保大野原地区の企業誘致の推進		
	説明	埼玉県や関係機関と連携を図り、亀久保大野原地区内の企業誘致を促進する。		
活動	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	78	78	78
	実績値	77	77	
指標 3	指標名	市内への企業誘致数		
	説明	企業誘致により、雇用の創出・地域経済の活性化を図る指標となる。		
成果	単位	社		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	14	14	14
	実績値	8	8	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 産業系土地利用推進エリアの紹介を継続的に実施した。 相談件数 5件 進出企業 0件
	2 市内企業への継続したヒアリングにより、状況把握や事業課題の把握を行い、対応策を検討するなどの支援  (令和3年度委託内容) ・ふじみ野市内企業マッチング事業（企業訪問等） ・ふじみ野市キラリと光るものづくり企業ガイドの企業情報の追加作成及び既載企業の内容修正 ・ふじみ野市キラリと光るものづくり企業ガイド掲載企業の商品・技術内容の紹介パネルの展示会 ・企業就職高校生向けガイド作成 ・立地意向企業へのヒアリング等

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市内産業系土地利用推進エリアの整備を推めるとともに、継続してエリアの紹介をすることで、市内への進出企業の増加を図ることに結び付くと考え。また、市内企業への継続したヒアリングにより、状況把握や事業課題の把握を行い、対応策を検討するなどの支援を実施することで、市内企業の市外への流出を防ぐことになるため継続し事業を遂行することが必要である。
中長期的方向性	
継続	



# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		小規模企業者等事業継続臨時支援金給付事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～			
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー			
予算費目		一般会計 07商工費 01商工費 04小規模企業者等事業継続臨時支援金給付費			
所管部課		市民活動推進部 産業振興課		評価責任者	葛籠貫 智洋
事務事業期間		令和3年4月1日～令和4年3月31日		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		小規模企業者等臨時支援金支給要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により売上が減少している市内小規模企業者等の事業継続を支援するため、支援金を支給する			
	事務事業の経緯	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者等を支援するために、市独自の制度として行うものとなる。			
	事務事業の概要	令和2年2月から令和3年6月までの間のいずれかの月の売上高等が前年同月又は前々年同月（令和3年のみ）と比べ20パーセント以上減少している市内小規模企業者等に対して支援金10万円を支給する。			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱作成</li> <li>・市内事業者への周知</li> <li>・申請書の審査</li> <li>・支援金交付決定者 1,374事業者</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	0.25	0.00
		人件費	0	1,987	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		0	1,987	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	45	0	
	委託料	0	1,702	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	137,400	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	118	0		
支出合計		0	141,252	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	139,265	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		0	1,987	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	17	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	令和2年2月から令和3年6月までの間のいずれかの月の売上高等が前年同月又は前々年同月（令和3年のみ）と比べ20パーセント以上減少している市内小規模企業者等に対して支援金10万円を支給し、事業継続の支援をすることが出来た。
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により売上が減少している市内小規模企業者等の事業継続を支援するための一時的な支援であるため。今後においては、新型コロナウイルス感染症の状況やふじみ野市内の経済状況を考慮して効果的な事業を検討していく必要がある。
中長期的方向性	
完了	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		消費活性化クーポン給付事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	06 産業・経済 ～にぎわいと活力にあふれるまち～			
	施策	23 商工業 ー新たな産業の育成と商工業の活性化を進めますー			
予算費目		一般会計 07商工費 01商工費 05消費活性化クーポン給付費			
所管部課		市民活動推進部 産業振興課		評価責任者	葛籠貫 智洋
事務事業期間		令和3年4月1日～令和4年3月31日		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	新型コロナウイルスの長期化の影響で消費が落ち込んでいることから、市民全世帯への地域クーポン券を配布し、市内商店街等の活性化及び市民の消費促進を行う。			
	事務事業の経緯	新型コロナウイルス感染症の影響が大きい市内小規模事業者を対象とした緊急経済対策事業として実施する。			
	事務事業の概要	令和3年8月1日時点でふじみ野市に住民登録がある方を対象に世帯主宛てに一人あたり2,000円分の市内事業所で使用出来るクーポン券事業を実施する。 対象114,484人×2,000円＝総額228,968,000円			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者募集</li> <li>・クーポン券配達</li> <li>・換金業務</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	0.25	0.00
		人件費	0	1,987	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		0	1,987	0	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	203	0	
	委託料	0	10,129	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	201,584	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	0	21,761	0	
支出合計		0	235,662	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	231,663	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		0	3,999	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	35	0	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>クーポン券配布数 114,484人×2,000円=228,968,000円            クーポン券受取数 110,089人×2,000円=220,178,000円            ※配達率96.1%            クーポン券使用数 403,167枚×500円=201,583,500円            ※換金率91.5%            【事業効果】緊急経済対策として実施した本事業であるが、換金額から考えると、対象期間中に市内の店舗において、少なくとも約2億円の経済効果があったと考えられる。</p>
------------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により消費が落ち込んでいることから、市内消費活性化のための一時的な支援であるため。今後においては、新型コロナウイルス感染症の状況やふじみ野市内の経済状況を考慮して効果的な事業を検討していく必要がある。
中長期的方向性	
完了	